

6月は授業強化月間



いよいよ教育実習も最終週となりました。今週も教育実習生が研究授業を行いました。先生は、一年生を対象に、十五日(火)に道徳の授業を、翌十六日(水)には、国語科の研究授業を行いました。指導教官の先生の熱心な指導の下、じっくり時間をかけて準備を進めてきました。

道徳の授業では、「裏庭の出来事」という資料を使用しました。日常の学校生活でも起こりうる出来事や失敗の中で、自分の行いや、それに伴って生じる責任について、CRSで話し合いました。

国語科の授業では、だまし絵を扱った教材文「ちよつと立ち止まって」を用い、筆者が読者に伝えたい内容は何かを読み取るCRSの授業を行いました。母校となる愛知淑徳大学の教授も駆けつけて授業を参観してください。先生にエールを送っておられました。三週間の実習から、将来教師となる情熱を高めてくれたことでしょう。





六月十六日(水)は、実習生の先生の保健体育科の研究授業も行われました。保健体育科では、スポーツを、ネット型、ゴール型、ベースボール型の三つに分類し、三年間の指導計画を立てています。この日は、バレーボールを扱い、チームで話し合い、作戦を考えました。

実習生最後の研究授業は、十七日(木)の業は、先生の社会科学でした。工業化が進み、環境問題が表面化した九州地方の実態を教材とし、環境保全に向けて取り組むべき課題を学びました。若い先生方のやる気に感化され、生徒も一生懸命取り組みました。

WEB上では個人名の掲載をひかえています。



令和3年度

継承と創造

額田中学校

校長室だより



6月18日(金)
第10号

額中の
新たな伝統

- C (challenge) チャレンジ：挑戦
- R (respect) リスペクト：尊敬
- S (smile) スマイル：笑顔

主体的な学びを生み出す CRS の授業

他校からも参観に



6月16日（水）5時間目の3年生道徳の授業を、額田中学校区小学校の校長先生が参観されました。

教材は、家族について考えるための資料「一冊のノート」。特別の教科「道徳」は、授業ごとに設定した道徳的な価値項目（本時は家族愛）に対し、それぞれが本音や現実と葛藤しながら、より高い段階の道徳的な心情や実践に向かおうとすることを大切にしています。



授業を参観した校長先生からは、たくさんのコメントをいただきましたので、そのごく一部となりますが、抜粋して紹介します。

□豊富小 校長先生

中3の生徒の前向きな取組がすごく素敵に見えました。表情がよく、自分の思いを臆せずに言えるのは、これまでの積み重ねから自信があるのだろうなと思いました。授業の少人数学習が日常になると、そこから、お互いに知らなかった個性やよさに気づき、人間関係ができていくという先生の話にも納得しました。

□夏山小 校長先生

本校の職員にも見せたいです。額田地区を盛り上げていきましょう。

□宮崎小 校長先生

学級にプラスのオーラが漂っていたのが素晴らしいと思いました。授業全体が、しっとりとした雰囲気の中で行われていました。CRSで、前のめりになっていく生徒の姿は「他者の考えを聴きたい」という思いの表出でした。

□形埜小 校長先生

どの子も、「自分の考えや思いを伝えたくてたまらない」といった姿が心に残ります。真剣になって聞いてくれる仲間、真剣に語り合える関係が土台にあるから、この姿があるのだろうなと思いました。

□下山小 校長先生

夏山、下山の卒業生とも少し話しましたが、みんないい顔をしていて、充実した生活を送っているようでうれしく思いました。額中で活躍できる子を育てて、ここに送りたいなと改めて思いました。

この授業は、小学校の校長先生だけでなく、六ツ美中学校から4名の先生方も参観に來られました。授業後、「いかがでしたか？」と尋ねると、「追いつけるように頑張ります」と、力強く話されました。

学年花壇に花を

環境委員と美化委員が中心となって、種から育てた苗を、花壇に植えてくれました。（マリーゴールド・ヒマワリ）



寮生の帰省風景

週末、寮生が帰省するときには、先生たちは一列に並び、バス内の寮生に手を振ります。「来週、またね!」「勉強頑張れよ!」など、様々な声が飛び交っています。



WEB上では個人名の掲載をひかえています。